



R. I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2232号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210

会長 千葉 慎二 幹事 三田 明宏



広重版画より 三島 朝霧

第2303回例会

2021.5.6晴

司 会

柴崎恵子君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリー-の目的

ロータリー-ソング

「奉仕の理想」
指揮 古屋英将君

会長挨拶

会長 千葉慎二君

今日は住宅業界、建築業界のことを話してみたいと思います。『ウッドショック』という言葉をご存じでしょうか？1970年代に中東危機に端を発した『オイルショック』になぞらえた言葉で、日本の住宅建築に欠かせない柱や梁と言いたいわけの構造材に使用する輸入木材の需給バランスが崩れ、価格の高騰・納期の遅延が発生していることを指します。『住宅木材、13年半ぶり高値～米で需要拡大、品不足に～国内、住宅着工遅れも』といった見出しで4月22日(木)の日経新聞にも大きな記事が出ていました。原因を追いかけてみると、需要・供給・物流と三重苦の様相が見えて来ます。

リーマンショック以降の、とりわけコロナ対策としての金融緩和に加えて桁外れの財政出動によって米国の住宅市場がヒートアップし、木材の需要が急増しているようです。その為これまで日本に輸出されていた欧州材が、価格の高騰している米国市場に振り向けられていると言います。一方で米国・カナダの木材の供給力が落ちています。コロナ罹患や給付金受給による労働力の減少、温暖化による虫害による供給能力の減退、大規模な山火事などが原因と言われています。こうした需給バランスの逼迫に加えて物流の面でも、輸送用のコンテナ不足の問題が追い打ちを掛けています。5年程度とされる耐用年数からすれば毎年5分の1の海上コンテナが新しいものに置き換えられねばならないところ、高関税の掛け合いなど米中貿易摩擦による荷動き減少を受けてここ2年間のコンテナ製造量が減少したためだと聞きます。

国内の木材加工業者では、昨年秋頃から仕入れる輸入材の価格上昇が鮮明になり、年明けになっていよいよ価格高騰

のみならず、数量の確保がままならないようになりました。現在の住宅建築では、構造材は工場で加工して現場ではホゾを切ったりせず組み立てるだけのプレカット工法が圧倒的で、柱は加工しやすく真っ直ぐなスプルース系(よく欧州トウヒとかホワイトウッドなどと呼ばれます)といわれる欧州材が、梁にはそれより強度の強い北米の米マツ材などが主流なため、今お話ししたような需給物流の三重苦を負わざるを得ない状況となっています。現時点では、お客様との契約が済み、プレカット材を発注しても、納期が約束して貰えない状況です。

先日巡回した住宅の新築現場で、集成材の柱が従来より赤っ毛いのでラベルを良く見てみると、欧州材の代わりに国産の杉材が使われていました。輸入がままならないために価格の高い国産材が使われるようになったのですが、国内の林業や森林維持のためには良いことなのかも知れません。ただ、こうした状況が一過性のもので、2、3年のうちにまた元に戻ってしまうのだとしたら、国内の林業関係者もそうそう迂闊に設備投資に走る訳にも行きません。国内の林業や森林の維持のためには、国を挙げて腰を据えた抜本的で戦略的な政策が待ち望まれているのだと思います。

幹事報告

幹事 三田明宏君

1. 5月行事予定 青少年奉仕月間

- ①6日(木)呉竹 通常例会 (地区協議会報告)森崎祐治君
臨時総会、議案、規定検討改定案の件
- ②13日(木)呉竹 夜間例会
担当 親睦活動委員会(承認済み)
- ③27日(木)呉竹 通常例会
外部卓話 静岡県議会議員 坪内秀樹氏

2. 6月行事予定

- ロータリー親睦活動月間
- ①3日(木)呉竹 通常例会 卓話 西川洋司 君
- ②10日(木)呉竹 夜間例会
クラブ協議会(各委員会年間報告)
- ③24日(木)呉竹 サヨナラ例会 激励・慰労会

2020～2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

ロータリーは、機会の扉を開く

出席報告

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	41/46	89.13%	41/46	89.13%
今回	41/48	85.42%	会員総数	51名

欠席者 芦川君、宇江喜君、内田君、窪田君、杉崎君、
諏訪部(照)君、前田(博)君

おめでとう

会員誕生日 矢野君
入会記念日 森藤君
ご主人誕生日 橋本君
結婚記念日 橋本君

理事会

- ①5月6日の臨時総会に於いて、規定検討改定案が承認されました。
- ②6月24日(木)のサヨナラ例会は、開催する事が決定いたしました。コロナウイルス対策を充分留意して、例年とは違う形式をとります。詳細が出来次第、ご報告させていただきます。
- ③5・6月の行事予定(例会・会食・テーブル会等)は状況により変更する可能性があります。

表彰

ベネファクター



千葉慎二君

ポール・ハリス・フェロー



千葉慎二君 柴崎恵子君

卓話

地区研修・協議会報告

副会長 森崎祐治君

先月25日に2620地区の地区研修・協議会がリモートにて開催されました。当クラブからは次年度理事役員と入会3年未満の会員合わせて11名が登録し参加しました。

志田ガバナーからは、コロナが新しいロータリーを開くチャンスになるという話とともに国際ロータリーではSRF(シェイピング ロータリーズ フューチャー)「ロータリーの未来を形成する」取り組みが協議されているとのことでした。デジタル化はもとより今までの地区制度をなくす、ガバナー任期を1年よりもっと長くする、フラットな組織にするなど2030年を目指した検討がなされているとのことでした。シェカール・メータRI次期会長のメッセージでは、次年度テーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)とし、「もっと行動しよう もっと成長しよう」(Do more Grow more)と呼びかけがありました。「行動」は他クラブや他の団体らと力を合わせてインパクトの強い奉仕活動をし、「成長」は会員数を初めて130万人にする目標にチャレンジしようというものでした。具体的には新たに「ロータリー奉仕デー」に取り組む、「みんなが一人を入会させよう」(each one, bring one)でした。小林次期ガバナーからはこれを受けて10の地区運営方針、10のクラブ要請事項等を発表し承認されましたが、強調されたのは会員を3月末の2861人から3000名台に増やし「ロータリー奉仕デー」を各クラブで開催してほしいというものでした。午後からは各分科会の取り組みについて各次期委員長からの発表がありました。

これを受けて当クラブの活動方針、計画を策定すべく準備を始めていますが、コロナ対応や50周年行事等当クラブの事情を踏まえ皆様のご理解ご協力を得て有効な意義ある活動になる21～22年度にしていきたいと思います。

以上、本日は先日の地区研修・協議会のお話をさせていただきました。

スマイルボックス

- ◆関本(照)君、4月18日(日)朝霧ジャンボリーGCで理事長杯決勝27ホールが強風の中開催され、38、40、37=115ストロークで9打差を大逆転し、21年ぶり2回目の優勝となりました。又、予選、決勝ともエージシュートを達成し、16年間で177回目となりました。当日の同伴競技者、西クラブ川名正洋君、元幹事の林重治君と良きパートナーにも恵まれ優勝することができました。ありがとうございます。
- ◆前田(房)君、21会のゴルフコンペを5月4日ファイブハンドレッドで行い優勝させていただきました。
- ◆伊丹君、ここ数日、佐野美術館様の池の清掃と修理でボランティア活動をしています。肩・腰の痛みで、今日は身体にサロンパスを数枚貼っての参加です。年はとりたくないものです・・・ね。
- ◆花房君、早退します。
- ◆栗原君、早退します。

(週報担当:遠藤真道)

三島西RCテーマ

ホップ、ステップ
新たな飛躍に向けて足下を見つめてみよう